

静止気象衛星「ひまわり8号」、打ち上げ！ 台風や集中豪雨のより正確な予測などで活躍に期待

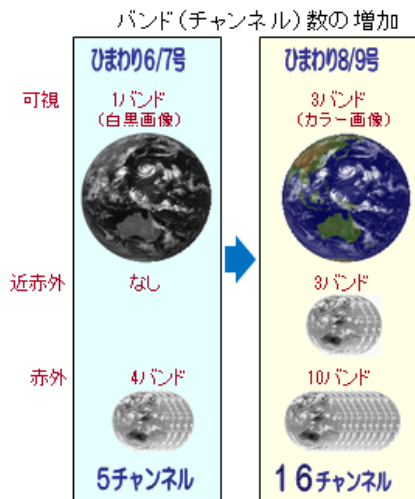


分解能が2倍に向上、観測時間が10分に短縮、カラー画像などデータ種別が3倍増！

10月7日(火)午後2時16分、静止気象衛星「ひまわり8号」を搭載した H-II A ロケット25号機が、鹿児島県の種子島宇宙センターから打ち上げられました。ロケットはその後正常に飛行し、打ち上げから27分57秒後に「ひまわり8号」を分離し、衛星が所定の軌道に投入されました。

「ひまわり8号」は世界最先端の観測カメラを搭載する次世代の気象衛星として、日本および東アジア・西太平洋の国々における天気予報はもとより、台風や集中豪雨など気象状況のきめ細かい観測や天気予報の精度向上など幅広い分野で役に立つことが期待されています。

「ひまわり8号」は世界最高水準の観測性能

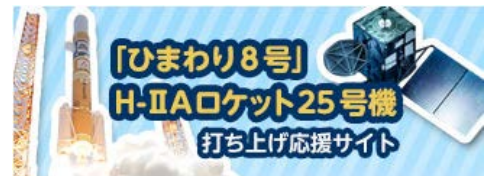


「ひまわり8号・9号」の観測カメラは「ひまわり6号・7号」に比べて分解能が2倍になり、氷や黄砂などを細かく判別できるほか、観測時間が短くなり日本上空を常時2分半ごとに観測できるようになる。また、カラー合成した画像で観測結果を確認できるようになり、取得できるデータの種類も増える。©気象衛星センター



ロケット搭載カメラが捉えた「ひまわり8号」分離の様子
「ひまわり8号」と同性能の9号が2016年度にバックアップで打ち上げられる予定。8号、9号とも観測期間は7年で、今後14年間はこの2基で観測が行われる。

さらに詳しく知りたい方はこちら



ファン!ファン!JAXA「ひまわり8号」応援サイト
<http://fanfun.jaxa.jp/countdown/himawari8/>



<http://fanfun.jaxa.jp/feature/detail/3109.html>

Space i 宇宙かわら版 2014年10月7日号

問い合わせ先：Space i 事務局（一般財団法人日本宇宙フォーラム）

ホームページ：<http://www.spaceinfo.jp/> お問い合わせ：https://www.science-event.jp/event/spacei_contact/

※特に断りのない限り日付は日本時間です。画像の出典：MHI/JAXA、三菱電機、気象衛星センター

